

クリントン サイプス (元キリスト教徒 アメリカ合 国) (パ ト2/2)

:

明:憎しみ、犯罪、暴力の人生が平安と信仰へのそれになる。パ ト 2:平和の源泉に仕える者

目:[事新改宗者ムスリムの逸 男性](#)

より: クリントン サイプス

日 05 Dec 2009

集日 05 Dec 2009

真 の探求

それは 邦刑 所への私の到着から始まりました。一人のアフリカ系アメリカ人が私の化粧品に必要なことを申し出てくれました。彼は自分がムスリムであると言い、ムスリムは必要がある人を助けるように言われていると言いました。それはこのイスラ ムというものを べてみようという私の 味を打ちそそりました。一方で私はこの宗教がアフリカ系アメリカ人のためだけの宗教だと思い んでおり、自分がムスリムになれるわけではないと考えていました。私は白人なのですから!

しかし、私はこの兄弟に何 かのイスラ ムの本を依 しました。そして私は肌の色や民族、人 などの いを超越したイスラ ムの普遍性を知りました。それは真 で なものに えました。私はイスラ ムに 味を抱き始めました。またこの兄弟は私をジウムア(金曜)の集 礼 に招待しました。私はクルア ンを られ、その翻 を み、その さと真 を感じました。そこにはごまかしや 味 さ、神秘主 などではなく、ただ“真 ”の明瞭かつシンプルな理解がありました。アザ ン(祈りへの呼びかけ)を いた 、私は心と魂を く神への近付きを感じたのです。

クルア ンに していくらかの勉 を重ねた 、私はそこに矛盾のない 的な信 性を しました。

宗教にはあるの科学や多神教、あるいは三位一体などのもとに成立するものがあります。しかし私は考える性の人で、それらはどれも理的に得のいくものではありませんでした。

イスラームは、から造物を造した唯一神の信仰を基にしています。事私がんでいた物(クルアーン)は1400年以上もの、一つの母音も言もえられなかったのであり、それ自体が奇でした。こうして私はイスラームの一性と唯一神の教に得させられたのです。

キリスト教は、教共に改され、そして未だにわりけています。今日まれ教えられているの正性さえ明出来ないような状なのです。

唯一神と一つの宗教だけがあり、宗教とは神への“服”です。これがイスラームの意味です。

著しい 化:クリントン

サイプスからアブドッサラームへ（平和の源に仕える者）

ご存知になられた通り、クリントンサイプスの人生は嫌、犯罪、そして暴力など、人の完全なる破をもたらすもの以外の何ものでもありませんでした。

りと部分的な真、そして路上の人々への追の年月の、そしてかつて一人以上もの人が投げまれ、私の怒りと嫌の刃をく磨いてきた同じ所（刑所）が今は、イスラームによって迎され、私を“平和の源に仕える者”へとえる所になりました。イスラームは私の始まりとわりを示してくれたことにより、私の精神的空虚をたしてくれました。言では正には言い表せませんが、イスラームは足、平和、安らかさといったものを与えてくれました。私の目的は明で、その方向性は真っ直ぐなものとなりました。

イスラームはその真を通して、私に人性と神にする真の崇を教えました。私は私たちが神の御から来、そして神の御へらなければならないことを学びました。神は生物も生物も微なものも、肉眼でえるものも、有限もそして限のものも全て造されました。自

らを 造したものなどなく、全ては神によって 造されたのです。

末の日には、私が 人であろうが白人であろうが、金持ちであろうが 乏であろうが、力がかろうが弱かろうかは なく、それどころかその日全人 すら私を益することは出来ません。それよりも各人はその行いの善 に して 任を われ、そしてそれに じて されたり、また 酬を受けたりするのです。私以外の も私の罪で せられたり されたりすることなどはなく、また私が行った善の 酬を私の代わりに受けたりすることは出来ないのです。私には 任があり、 ねられた には答えなければなりません。私はこの真 に 付き始め、公に

“アッラ 以外に神はなく、 言者ムハンマドは神の最 の使徒である”と宣言しました。それゆえ本 的に私の人生は、真 と さが始まる初期へと ったのです!

最 に。著しい 化は今完全な となりました。私は神(人 、天使、ジン、天国と地上の全ての存在の 造主に全ての 美あれ)に“真 ”を 出しました。神 (全ての称 に されるお方)は[多く]の美名または属性を有しますが、その美名の一つが(私のイスラ ム名にもついて いる)「サラ ム(平和)」なのです。

造者、平和の真の存在の 始者。神 (全ての称 に されるお方)の平和以外に平和はありません。私はこの平和を つけ、今“アブドッサラ ム”、つまり唯一の平和の源で、かつその 始者であられる最も崇高で全ての称 に される神の となったのです。

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/84>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。